フォーマットを変更しない。ＭＳ明朝10.5ポイントで記載。

数字はは半角。見出しは2字換算。

――――（以下に記入）――――

**Ｑ部活動地域移行の課題を解決できるか**

**A関係機関が一丸となって努力する**

Q 指導者と生徒の信頼関係は不可欠である。そのためにも指導者がたびたび代わることがないように要望するがどうか。

A **教育部長**　そのようなことがないように進めていく。

Q 指導者の勝利至上主義、パワハラ、体罰等の不安があるが、委託業者に丸投げではなく、市として対応は考えているか。

A 部活動運営方針、外部指導者の職務内容及び指導上の留意事項、事業実施後において学校、教育委員会、委託業者で指導内容が適切に行われているか相互に確認していくことを仕様書に明記していく。

Q 委託費約3,300万円、地域クラブ会費約1,600万円を見込んでいるが、どれくらいの指導者が必要と考えているか。

A 各中学校に統括者を１人配置する。指導者の人数については、地域クラブの参加者数を基に、今後精査していく。

**Ｑ福祉避難所の増設を**

**A必要性は感じている**

Q 一般の避難所では生活が困難な障がいのある人、配慮を必要とする人たちが、能登半島地震では、車中泊をしたり、避難所を転々としなければならなかった。福祉避難所を増やし、どの施設と協定を結んでいるのか周知すべきではないか。

A **福祉部次長**　複数の福祉避難所を指定する必要性は感じている。避難所の確保に努めるとともに、周知を図っていきたい。

Q 大災害のたびに問題となるのは、水、トイレ、電気、プライバシーの確保である。多くの大災害を教訓として、避難所でのさまざまな設備が進歩している。避難所設備を最新のものに計画的に更新しているか。

A **くらし文化部次長**　避難生活等に係る設備については、水洗が不要なラップ式洋式トイレの整備など、見直しや更新を図っている。

関連質問　伊藤真規子議員

Q 大震災後、トイレを流さないこと、そのためにはどうすればよいかという周知が足りないのではないか。

A **くらし文化部次長**　下水道施設の状況が確認されるまでは水洗トイレの使用を控えること、普段から各家庭で携帯トイレを備蓄すること等を機会を捉えて周知していく。

―――――――――――――――

【写真キャプション】「**唯一の福祉避難所　福祉の家**」